

## <熊本支部例会事前抄録>

日時：2019年2月26日(火)19:30～

会場：熊本県歯科医師会館 研修室

- 一般講演抄録 2 -

### 経過症例から見えること

#### (高齢化に伴う歯牙・歯周組織の変化について)

(発表者氏名 所属機関)

川崎俊明 川崎歯科医院 〒860-0801 熊本市中央区安政町2-26

##### ■略歴

- 1979年 福岡歯科大学卒業
- 1987年 川崎歯科医院勤務
- 1990年 川崎歯科医院継承開業
- 1999年 学位取得
- 2014年～ 福岡歯科大学口腔インプラント学分野臨床教授

##### ■所属団体

- 日本臨床歯科医学会（熊本支部）
- 日本学咬合学会（指導医）
- ICOI Fellow ship
- 日本口腔科学会・日本口腔外科学会・日本口腔インプラント学会・日本歯科審美学会

##### ■抄録

私が歯科医師となって40年の歳月を過ごしてきたが、日々の治療にあたっては、自分なりに患者さんの主訴を改善し、将来にわたって安定した口腔環境を維持することを第一に考えてきた。

そのためには、有益な情報を集め、より正確な診断と治療計画を立案できるように知識と技術の研鑽に努力してきたつもりである。

そうして治療後のメンテナンスを続けてゆく中で、良好な経過をたどるものだけではなく、予想外の事態に遭遇し、そこからまた新たな知見を得ることも少なくはない。特に患者さんが高齢化してゆく中で様々な生体の疲労ともとれるトラブルが散見されるようになってきた。

今回、長期経過症例の考察も含めて報告したいと思う。